学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新版応用ペン習字(教育図書)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文部科学省後援・硬筆書写検定の資格取得を目指し、同時に書写能力を高めましょう。
・筆順・部首・草書の読み・字体等についての理解を深めましょう。
・書写能力は、正しい書き方を身に付けることと、楷書・行書の書き分け、その書体にふさわしい仮名の書き方を理解しましょう。
・資格所得の目標を設定し、その達成に向け努力を継続する態度を養いましょう。

2　学習の到達目標

・書写検定実技について、楷書・行書の書き方を理解し書き分けができるようになる。
・書写検定理論について、筆順、部首、字体、草書の読み、その他の書道理論を理解する。
・実技・理論学習をふまえて、書作品制作や鑑賞を通じて、書を愛好する心情・書に対する感性を豊かにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション 行書	年間計画に基づき授業計画の提示 過去問の紹介 行書の学習 理論学習	a:楷書・行書の基本が理解できている b:高度な書き方・形式に応じた表現ができる。 c:模範例を参考に何度も何度も取り組んでいる。	プリント	成果物	取組 練習シート
	第1回検定(3級) 2級に向けて	傾向と対策の学習のあと第1回検定の実施 楷書・行書・縦書き/横書き、はがき宛名、ポスター	a:楷書・行書の基本が理解できている。 b:形式に応じた書き方ができる c:意欲的に粘り強く取り組んでいる。	プリント	成果物	取組 練習シート
2学期	2級問題演習	過去問2級の紹介 理論・はがき文面	a:高度な書き方が理解できている。 b:形式に応じた書き方ができる c:向上心を持ち努力を継続して取り組んでいる。	プリント	成果物	取組 練習シート
	第2回検定2級実施	出題の傾向と対策学習のあとグレードを上げて2級に取り組む 3級2級検定のふり返り	a:2級レベルの楷書行書の基本的な書き方が理解できている。 b:高い表現力で書き分けができる程度の書写力が身についている。 c:向上心を持ち粘り強く取り組んでいる。	プリント	成果物	取組 練習シート
3学期	作品制作	吉語・俳句・四字句 短冊・色紙	a:楷書行書の基本的な書き方が理解できている。 b:自分の意図に応じた表現ができている。 c:計画的に取り組み主体的な制作ができている。	作品計画	作品(途中経過を含む)	制作シート
	ふり返り 鑑賞会	出来上がった作品の提出および鑑賞会	a:基本的なものの見方ができる。 b:鑑賞に際して適切な表現、言葉の使用ができる。 c:自ら進んで参加している。	作品発表	プレゼン力	鑑賞シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度